

BACKUP EXEC の製品使用権説明書

この製品使用権説明書 (以下、「本書」) には、ライセンス対象ソフトウェアをご利用になる、個人、会社、または法人であるお客様 (以下、「お客様」または「お客様の」) とベリタステクノロジーズ合同会社の間で締結されるベリタスソフトウェア使用許諾契約 (以下、「本使用許諾契約」) の条件の下にライセンスが付与されるライセンス対象ソフトウェアに対する追加条項 (以下、「製品使用権」) が記載されています。本書で使用されているにもかかわらず、本書内で定義されていない「」で囲まれた用語は、本使用許諾契約で指定された意味を持つものとし、本使用許諾契約と本書の条項が一致しない場合は、本書の条項が優先します。

お客様はライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用することにより、本書に記載された製品使用権、および本使用許諾契約の条項に準拠することに同意したことになります。ライセンス対象ソフトウェアに適用される製品使用権に同意しない場合は、ライセンス対象ソフトウェアをダウンロード、インストール、または使用しないでください。

本書が対象とするライセンス対象ソフトウェアは、Backup Exec です

1. 追加の定義

「アプリケーション」は、特定のアプリケーション (例: Microsoft SQL Server) について操作を実行するように設計された 1 つ以上のプログラムを意味しますが、実行はシステムソフトウェアに依存します。

「Capacity Edition」は、ベリタスから使用許諾されているとおりにフロントエンドテラバイトの数に基づいてお客様に使用許諾されているライセンス対象ソフトウェアのライセンスを意味します。本使用許諾契約の他の条項に関わらず、Capacity Edition ライセンスに含まれるすべてのコンポーネントのライセンスメーターは、フロントエンドテラバイトに基づくものとします。Backup Exec 環境がフロントエンドテラバイトに対して使用を許諾されたライセンス対象ソフトウェアのみを含む場合、お客様は、Capacity Edition ライセンスに含まれるライセンス対象ソフトウェアを当該 Backup Exec 環境内でのみ使用できます。

「クライアント」または「デバイス」は、(i) お客様がライセンス対象ソフトウェアをインストールし、使用可能であること、(ii) お客様がインストールされたライセンス対象ソフトウェアにネットワーク上でアクセスし、使用可能であること、(iii) 2 台の異なるデバイスをつなぐ物理的な接続ポイントであること、のいずれかを満たす 1 台のコンピュータ、ストレージドライブ、またはその他のデバイスを指します。

「コールドディザスタリカバリ機器」または「コールド DR 機器」は、コールド DR ライセンスがインストールおよび構成されているが、電源がオフになっているかアイドル状態のサーバー、プロセッサ、またはデバイスを指します。アイドルまたは「パッシブ」のモードおよび構成とは、データベースやアプリケーションがインストールされているが、通常操作時にユーザートランザクションまたはクエリー負荷を処理していない高可用性クラスタ内のサーバーを指します。

「コールドディザスタリカバリライセンス」または「コールド DR ライセンス」は、災害の発生時における使用許諾契約の要件に従ったお客様による使用のみを目的としてベリタスにより許諾され、コールドディザスタリカバリ機器上に配備されるライセンス対象ソフトウェアのコピーを指します。

「データ回復サイト」または「DR サイト」は、コールドディザスタリカバリ機器が所在するサイトまたは場所を指します。

「フェールオーバー準備テスト」は、業務活動を業務サーバーから別のサーバーへ移動するか、または移動手順をテストするプロセスを指します。

「フロントエンドテラバイト」は、(i) 適用されるライセンス対象ソフトウェアがインストールされたクライアントまたはデバイスの総データ量、または (ii) ライセンス対象ソフトウェアを使用してバックアップ機能を提供できるクライアントまたはデバイスの総データ量を意味し、合計値が最大の完全バックアップ (または合成完全バックアップ) が実行された際にライセンス対象ソフトウェアによって実際に計量されたデータ量を指します。テラバイトデータの端数は、最も近い整数のテラバイト値に切り上げられます。

「ホスト」は、特定のアプリケーション（例: Microsoft SQL Server）について操作を実行するように設計された 1 つ以上のプログラムを意味しますが、実行はシステムソフトウェアに依存します。

「管理対象 Backup Exec Server 環境」は、1 つの Backup Exec 集中管理サーバーで管理される Backup Exec Server のグループを指し、Backup Exec 集中管理サーバーが存在しない場合は 5 つの Backup Exec Server の静的グループを指します。

「ノード/IP」は、インターネットプロトコルや MAC アドレスなどの、一意のネットワークまたはコンピュータアドレスを指し、これはライセンス対象ソフトウェアによって監視されます。

「プロセッサ」または「CPU」は、コンピュータを実行する命令、および/またはソフトウェアにアクセスしたりソフトウェアを実行したりする命令に応答し、これを処理する論理回路を指します。各プロセッサは、複数の処理コアによって構成される場合があり、各コアが個別のプロセッサとして独立して機能する場合があります。ベリタスによって、プロセッサの使用許諾はコアごとをベースにするとされた場合、プロセッサの数がコアの総数であるとされ、「x」個のコアを持つプロセッサは、「x」個のプロセッサであると数えられます。

「サーバー」は、ネットワークインフラ内でリソースを共有することによりクライアントコンピュータに対してサービスまたはリソースを提供する独立したコンピュータを指します。サーバーでは、他のコンピュータまたはデバイスのためにサーバーソフトウェアを実行できます。

「ストレージデバイス」は、情報を保存するため、コンピュータに接続される、完全にスタンドアロンのストレージユニット、またはマルチデバイスディスクまたはテープを利用したストレージシステム内のストレージユニットとして機能する個々のディスク、テープ、CD、光ディスク、または DVD デバイスを指します。

「テラバイト」は、ライセンス対象ソフトウェアによって管理される、圧縮されていないデータストレージの総容量および/またはコンピュータメモリの総容量を指します。1 テラバイトは、1,024 ギガバイトのデータに相当します。

「ユーザー」は、お客様により、当該ソフトウェアを使用するか、その使用により利益を得ることを認定された個人および/またはデバイス、または当該製品またはサービスの一部を実際に使用する個人および/またはデバイスを指します。「並列実行ユーザー」は、常にライセンスソフトウェアを使うことができる同時ユーザーおよび/または同時デバイスの数を指します。

2. 追加の使用権および制限事項

- 2.1. **全般的な権限。**物理サーバーまたは仮想サーバーに関わらず、1 台のアクティブなサーバーでライセンス対象ソフトウェアおよび関連資料の個々のコピーを使用してデータのバックアップを実行できます。別途ライセンスを付与されたライセンス対象ソフトウェアのコピーがクラスタ内のアクティブな各サーバーにインストールされていることを前提に、ライセンス対象ソフトウェアの個々のコピーを一連のクラスタ化されたサーバーの一部として 1 台のアクティブなサーバーで常に使用できます。クラスタ内のパッシブノードには、インストールのみを目的としてライセンス対象ソフトウェアのコピーが 1 つ必要ですが、ライセンスは必要ありません。
- 2.2. **エージェントおよびオプション。**物理サーバーまたは仮想サーバーに関わらず、1 台のアクティブなサーバーで、個別にライセンスが付与され、任意のシリアル番号が付与されたデータベースエージェント、リモートエージェントまたは製品オプションのコピーを常に使用できます。また、ライセンス対象ソフトウェアを実行している任意のサーバーにエージェントまたはオプションのライセンスキーをインストールすることで、個々のサーバーをライセンス対象ソフトウェアを実行している任意のサーバーで保護できます。上記に関わらず、シリアル番号が付与されたデータベースエージェント、リモートエージェント、または製品について、以下に明示的に記述され、そこに異なるライセンス規定が含まれている場合、その異なるライセンス規定が適用されます。
- 2.3. **Capacity Edition。**お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Capacity Edition として使用許諾されている場合、お客様は Backup Exec のエージェントとオプションを無制限に使用できます。Capacity Edition ライセンスは「フロントエンドテラバイトごと」の数値で測定されて保護またはアーカイブされます。たとえば、お客様は、フロントエンドテラバイト 3 TB のデータをバックアップするために Capacity Edition の

コンポーネントが必要な場合、フロントエンドテラバイト 3 TB の **Capacity Edition** のライセンスソフトウェアの使用許諾を受ける必要があります。

- 2.4. **Capacity Edition Lite**。ライセンスを交付済みのライセンス対象ソフトウェアが **Capacity Edition Lite** としてライセンス交付された場合には、次の **Backup Exec** エージェントを無制限に利用できます: **Agent for Applications and Databases**、**Agent for Windows**、**Agent for Linux**、**Agent for VMware and Hyper-V**。Capacity Edition Lite ライセンスは「フロントエンドテラバイトごと」の数値で測定されて保護またはアーカイブされます。たとえば、お客様は、フロントエンドテラバイト 3TB のデータをバックアップするために **Capacity Edition Lite** のコンポーネントが必要な場合、フロントエンドテラバイト 3TB の **Capacity Edition Lite** のライセンスソフトウェアの使用許諾を受ける必要があります。
- 2.5. **Backup Exec V-Ray Edition**。物理サーバーまたは仮想サーバーに関わらず、1 台のアクティブなサーバーでライセンス対象ソフトウェアおよび関連資料の個々のコピーを使用して、データのバックアップを実行できます。別途ライセンスを付与されたライセンス対象ソフトウェアのコピーがクラスタ内のアクティブな各サーバーにインストールされていることを前提に、ライセンス対象ソフトウェアの個々のコピーを一連のクラスタ化されたサーバーの一部として 1 台のアクティブなサーバーで常に使用できます。クラスタ内のパッシブノードでは、別途ライセンスを必要とすることなく、ライセンス対象ソフトウェアのコピーをインストールできます。**Backup Exec V-Ray Edition** ライセンスは、**VMware ESX(i)** ホストまたは **Microsoft Hyper-V** ホストに存在する実装されたプロセッサソケットの数に関して「CPU」ライセンスで測定されます。たとえば、4 つのコアプロセッサを備えた単一ソケットのシステムの場合は、2 つから 6 つまでのコアの単一プロセッサソケットに対して **Backup Exec V-Ray Edition** の使用許諾を受ける必要があります。8 つ以上のコアを備えた単一プロセッサソケットのシステムの場合は、8 コア以上の単一プロセッサソケットに対して **Backup Exec V-Ray Edition** の使用許諾を受ける必要があります。同一 **Backup Exec** 環境内で異なるレベルの **Backup Exec V-Ray Edition** ライセンスを取得して使用もできます。
- 2.5.1.1. **Backup Exec V-Ray Edition** により、仮想マシンと仮想マシンが常駐する仮想ホストを保護できます。**V-Ray Edition** に含まれる **Backup Exec** 物理サーバー 1 台のみを保護するのではなく複数の物理コンピュータを保護するには、**Backup Exec Agent** やオプションのライセンスを追加購入する必要があります。たとえば、**Oracle** を実行している物理システムの場合は、**Backup Exec Agent for Applications and Databases** ライセンスを購入してそのサーバーを保護する必要があります。**Oracle** エージェントのバックアップを作成する **Backup Exec Server** のライセンスを追加購入する必要はありません。
- 2.5.1.2. 仮想ホスト上で実行しているその他のアプリケーションは、**V-Ray Edition** ライセンスの対象外になります。たとえば、**Hyper-V** ホストが **Microsoft Exchange Server** も実行している場合、**Exchange Server** アプリケーションやそのデータを保護するための黙示的なライセンスはありません。このような構成では、**Exchange Server** を保護するために、**Agent for Applications and Databases** の追加ライセンスが必要になります。**Exchange Server** は、物理ホスト上で実行されているからです。
- 2.5.1.3. 1 つの仮想ホストが複数のプロセッサを持つ場合、プロセッサあたりの割合で **Backup Exec Media Server**、**Agent for VMware and Hyper-V**、**Agent for Applications and Databases**、および **Deduplication Option** を配備できます。配備されたこれらの **Backup Exec** コンポーネントは、上記に定めるとおり、仮想マシンおよび仮想マシンが存在するホストの保護に限定されます。たとえば、2 つのプロセッサを備えた仮想ホストの場合、**Deduplication Option**、**Agent for Applications and Databases**、および **Agent for VMware and Hyper-V** とともに 2 つの **Backup Exec** メディアサーバーを配備できます。2 つの **Backup Exec** メディアサーバーは、2 つのプロセッサを持つ 1 つの仮想ホストおよび当該仮想ホスト上に存在するマシンを保護するために使用許諾されます。その他のリソースを保護するために 2 つの **Backup Exec** メディアサーバーを使うには、上記の **Backup Exec V-Ray Edition** の使用レベルに一致する追加ライセンスが必要になります。
- 2.6. **サブスクリプション**。ライセンス対象ソフトウェアは、一定期間に限り、お客様に使用許諾されている場合があります (期間限定型またはサブスクリプション型ライセンスなど)。ライセンス対象ソフトウェアが、一定期間

に限り、お客様に使用許諾されている場合 (該当するライセンス証明書に記載)、本契約の第 2 条にその他の規定がある場合でも、ライセンス対象ソフトウェアを使用するためのお客様のライセンスは、該当するライセンス期間の満了時に終了するものとします。

- 2.7. **クラウドコネクタ**。ライセンス契約したライセンス対象ソフトウェアにベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスにバックアップを保存できるクラウドコネクタ (それぞれが 1 つの「Cloud Connector」) が含まれる場合、次の規定が適用されます。

2.7.1.1. ベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスにバックアップを保存するための **Cloud Connector** の使用は、ベリタスの管理外となるこのような環境やサービスを提供するサードパーティにより変更される場合があります。ベリタスはお客様によるこのようなベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスへのアクセスおよび/または **Cloud Connector** の使用に直接または間接に起因する停止、データの損失、バグ、技術的な問題、またはその他のエラーについては責任を負いません。このようなベリタス以外またはサードパーティのクラウドストレージ環境またはサービスの利用によるあらゆるデータの損失または破損については、お客様が一切のリスクを負うものとします。

2.7.1.2. 本契約のその他のいかなる条項にも関わらず、**CLOUD CONNECTOR** は「現状有姿のまま」ライセンスされ、いかなる種類の保証もありません。

- 2.8. **メーター**。本契約の適用を受けるライセンス対象ソフトウェアは、以下の使用レベルに基づき使用許諾されません。

1. 製品	2. メーター
Backup Exec 16	サーバー単位
Backup Exec 16 Capacity Edition	フロントエンドテラバイト単位
Backup Exec 16 Capacity Edition Lite	フロントエンドテラバイト単位
Backup Exec 16 V-Ray Edition	プロセッサ単位
Backup Exec QuickStart Edition	サーバー単位
Agent for Applications and Databases	アプリケーション単位
Agent for Windows	サーバー単位
Agent for Linux	サーバー単位
Agent for VMware and Hyper-V	ホスト単位
Remote Media Agent for Linux	サーバー単位
Deduplication Option	サーバー単位
Enterprise Server Option	サーバー単位
Library Expansion Option	デバイス単位
NDMP Option	サーバー単位
VTL Unlimited Drive Option (VUDO)	デバイス単位

3. **高可用性のためのコールドサイト/ディザスタリカバリ条項、またはシステムまたはデータ回復のための製品**

3.1. 本使用許諾契約の第 2 条 (ii) の条項は、本条項に記載された条項によって補完され、本条項が第 2 条 (ii) の条項に優先するものとします。以下に記載の要件に従い、お客様は業務サーバーのクラスタの一部であるコールドディザスタリカバリサイトに位置するコールドディザスタリカバリ機器上のコールドディザスタリカバリライセンスとして、ライセンス対象ソフトウェアの追加コピーを 1 つインストールおよび使用できます。当該インストールおよび使用の要件は次のとおりです。

3.2. 製品、製品バージョンおよびコールドディザスタリカバリライセンスの期間およびその基盤となるライセンス対象ソフトウェアの実装ライセンスが同一である必要があります。

3.3. コールドディザスタリカバリライセンスに使用されるソフトウェアライセンスがサーバーごとまたはプロセッサごとに使用許諾されている場合、コールドディザスタリカバリライセンスはライセンス対象ソフトウェアのライセンスで権限が確認されたサーバーティアまたはプロセッサティアと同じか、より多いか、または少ない数のサーバーティアまたはプロセッサティアに配備できます。

- 3.4. お客様のコールドディザスタリカバリライセンスを使用する権利は、基盤となるライセンス対象ソフトウェアのメンテナンス/サポートが期限切れした場合、自動的に終了します。コールド DR ライセンスには別途メンテナンス/サポートが提供されませんが、該当するライセンス対象ソフトウェアのメンテナンスを使用してインストールしたコールドディザスタリカバリライセンスを最新バージョンに維持できます。
- 3.5. 以下の第 17.3 条 E に記載の場合を除き、コールドディザスタリカバリライセンスをライセンス対象ソフトウェアの実装ライセンスの使用と同時に使用することはできません。次の例外を除き、コールドディザスタリカバリライセンスが配備されたコールドディザスタリカバリ機器の電源はオフにしておくか、アイドル状態にしておく必要があります。(i) 実際の災害時に使用する場合、または (ii) 実際の災害に関連して、またはテストの一環で、サーバーのクラスタ内の業務サーバーに障害が発生し、業務活動が予定されたコールドまたはアイドルサーバーに「フェールオーバー」された場合。
- 3.6. お客様は、合理性と必要性が認められる範囲において、1 年に 12 日間を上限としてコールドディザスタリカバリライセンスをフェールオーバー準備テストに使用できます。
- 3.7. 実際の災害時には、連続した 90 日間を上限として、コールドディザスタリカバリポリシーを業務に使用できます。当該期間の終了時点で本番サイトがまだ復旧していない場合、その時点で最新の移行ポリシーに従って、ディザスタリカバリサイトへの本番ライセンスの移行をお客様がベリタスに書面にて依頼する必要があります。当該移管には、料金が発生する場合があります。

4. 追加条項

- 4.1. **Backup Exec Agent for Windows.** 物理ネットワークまたは仮想ネットワークに関わらず、関連付けられた Backup Exec Agent for Windows を使用して、それぞれ 1 台の Windows サーバーまたはノードを保護する目的で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Windows のコピーを常にネットワーク上で使用できます。ライセンス対象ソフトウェアを実行しているサーバーに接続されている無制限のノードを保護する目的で、Windows XP ワークステーション上の Agent for Windows を使用できます。
- 4.2. **Backup Exec Agent for Linux.** 物理ネットワークまたは仮想ネットワークに関わらず、1 台のアクティブな Linux ノードを保護するために、システムアクセスを有効にする目的で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Linux のコピーを常にネットワーク上で使用できます。
- 4.3. **Backup Exec Enterprise Server Option.** お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Backup Exec Enterprise Server Option (以下「ESO」) を含む場合は、物理または仮想に関わらず、1 台のアクティブな管理対象 Backup Exec Server 環境で個別にライセンスが付与された ESO のコピーを常に使用できます。
- 4.3.1. Central Admin Server Option がインストールされている各サーバーには、個別にライセンスが付与された ESO のコピーが必要です。各 CAS で、管理対象 Backup Exec Server (MBES) として有効になっているライセンス対象ソフトウェアのライセンス付与されたすべてのコピーを管理できます。
- 4.3.2. 管理対象 Backup Exec Server 環境の各ノードは、Advanced Disk-based Backup Option での使用が許諾されています。
- 4.3.3. Storage Area Network (SAN) に接続されている管理対象 Backup Exec Server 環境の各ノードは、バックアップデータを SAN 上の任意の共有ストレージデバイス (テープ、ディスクまたは NDMP アプリアンス) に送信するための使用が許諾されています。
- 4.3.4. Library Expansion Option (LEO)、VTL Unlimited Drive Option (VUDO) または NDMP Option ライセンスキーを共有している管理対象 Backup Exec Server 環境にライセンスが付与された Enterprise Server Option のコピーがインストールされていることを前提に、SAN 上のライセンス対象ソフトウェアを実行している複数のサーバーで、常に共通の LEO、VUDO または NDMP ライセンスキーを使用可能にできます。
- 4.4. **Backup Exec Agent for Applications and Databases.** お客様が使用許諾を受けたライセンス対象ソフトウェアが Agent for Applications and Databases を含む場合は、サポートされているアプリケーションとデータベースの 1 つの完全な論理インスタンスに対する保護を有効にするために、物理または仮想に関わらず、1 台のアクティブなサーバーで個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。また、物理または仮想に関わらず、シリアル番号が付与された Backup Exec Agent for

Applications and Databases をインストールしている特定のサーバーまたはノードを保護する目的で、インストール時に各シリアル番号が付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases を有効にした 1 つの関連付けられた Backup Exec Agent for Windows、または Agent for Linux を使用できます。以下の使用許諾条項が適用されるものとします。

- 4.4.1. Backup Exec Agent for Applications and Databases- SharePoint サーバー。** Backup Exec Agent for Applications and Databases がインストールされているライセンス対象ソフトウェアを実行している特定のサーバーから複数の物理サーバーまたは論理サーバーに分散されている可能性がある SharePoint サーバーの 1 つの完全な論理インスタンスを保護するために、物理サーバーまたは仮想サーバーに関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバーで個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。または、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを使用して 1 つの SharePoint サーバーファームを保護することもできます。分散されたファーム環境では、SharePoint ファーム内の追加の SharePoint サーバー (Web フロントエンド、インデックス、クエリー、追加の SharePoint データベース) それぞれに追加の Agent for Windows ライセンスが必要です。
- 4.4.2. Backup Exec Agent for Applications and Databases- Active Directory。** Active Directory を保護するために、物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、Backup Exec Agent for Applications and Databases の個々のコピーを常に使用できます。Agent for Applications and Databases がインストールされ、Active Directory ドメインコントローラが保護されているライセンス対象ソフトウェアを実行している特定のサーバーからの個別リカバリを各ドメインコントローラで有効にするには、個別にライセンスが付与された Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。
- 4.4.3. Backup Exec Agent for Applications and Databases- Veritas Enterprise Vault。** Veritas Enterprise Vault を保護するために、物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Enterprise Vault のインストールにおいてバックアップおよびリカバリを実行するには、複数の物理サーバーまたは論理サーバーに分散されている可能性がある各 Enterprise Vault サイトに対して、個別にライセンスが付与された Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。分散環境では、Enterprise Vault エンティティ (ポルトストア、フィンガープリントデータベース、インデックスの場所など) をホストする各追加サーバーに追加の Agent for Windows ライセンスが必要です。移行を目的とする場合は、Enterprise Vault データのテープへの移行に使用される各メディアサーバー上に Agent for Applications and Databases のコピーがそれぞれ 1 つあれば十分です。
- 4.4.4. Backup Exec Agent - Oracle。** Windows または Linux システム上の Oracle または Oracle RAC を保護するために、物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Oracle または Oracle RAC の各インスタンスを特定の環境で保護するには、個別にライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。
- 4.4.5. Backup Exec Agent for Applications and Databases- Exchange Server。** Exchange Server を保護するために、物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。Exchange Server の各インスタンスを特定の環境で保護するには、個別にライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。Exchange 2010 データベース可用性グループ (DAG) のバックアップおよびリカバリでは、ライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが DAG の各メンバーに必要です。

- 4.4.6. Backup Exec Agent for Applications and Databases– SQL Server.** Microsoft SQL Server 製品を保護するために、物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーを常に使用できます。SQL Server 製品を特定の環境で保護するには、これを実行しているサーバーごとに個別にライセンスを付与された Backup Exec Agent for Applications and Databases のコピーが必要です。
- 4.5 Library Expansion Option.** ライセンス対象ソフトウェアを実行しているすべてのサーバーに、「スタンドアロン」の個々のストレージデバイスまたは、物理または仮想のテープオートローダ、ライブラリ、ロボットライブラリ、ロボットメディアチェンジャー内の 1 つのストレージデバイスを無制限に接続できます。2 つ以上のストレージデバイスを持つテープオートローダ、ライブラリ、ロボットライブラリ、ロボットメディアチェンジャーには、各デバイス内の最初のバックアップドライブ以降の追加ドライブごとに Library Expansion Option のライセンスが必要です。
- 4.6 Backup Exec NDMP Option.** 物理または仮想に関わらず、ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec NDMP Option のコピーを常に使用できます。ライセンス対象ソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバーに接続した各 NDMP サーバアプライアンスには、個別にライセンスを付与された NDMP Option のコピーが必要です。
- 4.7 Backup Exec Remote Administration Utility.** ライセンスソフトウェアを実行している無制限のサーバーをリモートで管理する目的で、無制限の Backup Exec Remote Administration Utility を使うことができます。
- 4.8 Backup Exec Microsoft Operations Manager .** Backup Exec Microsoft Operations Manager (MOM) Management Pack を無制限に使用して、サーバー上のライセンス対象ソフトウェアを無制限に中央監視できます。
- 4.9 Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V.** 1 台の VMware ESX ホストサーバーおよび 1 台の Microsoft Hyper-V ホストを保護するために、1 つの Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V ライセンスを常に使用できます。このホストサーバーは、ライセンスが付与された VMware ESX ホストシステムまたは Microsoft Hyper-V ホストシステム上にある無制限のゲスト仮想マシンを保護できます。ゲスト仮想マシンが動作している VMware ESX ホストかどうかに関係なく、ゲスト仮想マシンを管理する各 VMware ESX ホストサーバーまたは Microsoft Hyper-V ホストには、Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V ライセンスが必要です。Backup Exec Agent for VMware and Hyper-V ライセンスでは、このライセンスでライセンスが付与されている VMware ESX ホストサーバーまたは Microsoft Hyper-V ホスト上で実行される各ゲスト仮想マシンで、エージェント用に追加ライセンスを購入することなく、Backup Exec Agent for Windows および Backup Exec Agent for Linux を使用できます。ゲスト仮想マシンで実行する他のアプリケーションでは、別途ライセンスを付与された Backup Exec Agent が必要です。
- 4.10 Backup Exec Remote Media Agent for Linux.** 物理または仮想に関わらず、ライセンスソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Remote Media Agent for Linux Servers のコピーを常に使うことができます。
- 4.11 Backup Exec Deduplication Option.** 物理または仮想に関わらず、ライセンスソフトウェアを実行している 1 台のアクティブなサーバー上で、個別にライセンスが付与された Backup Exec Deduplication Option のコピーを常に使うことができます。
- 4.12 Backup Exec VTL Unlimited Drive Option.** 物理または仮想に関わらず、ライセンスソフトウェアを実行している、Backup Exec Server あたり 1 台のアクティブな VTL デバイスに対して、個別にライセンスが付与された Backup Exec VTL Unlimited Drive Option (VUDO) のコピーを常に使うことができます。
- 4.13 Veritas Backup Exec™ Configuration Tool for OpenDedupe.** 使用許諾されたライセンス対象ソフトウェアに Veritas Backup Exec™ Configuration Tool for OpenDedupe が含まれている場合、以下の事項が適用されます。
- 4.13.1** ライセンス対象ソフトウェアがサーバーコンピュータにインストールされるコンポーネントを含む場合、お客様は、インストールされた当該ライセンス対象ソフトウェアが権限を確認されたクライアントまたはユーザーの最大数使用される限りにおいて、本ソフトウェアの当該部分を何台のサーバーコンピュータにでもインストールすることができます。

4.13.2 ライセンス対象クライアントまたはユーザーをサポートするために、サードパーティアクセスライセンスモジュールまたはオプションとして設計された、ライセンス対象ソフトウェアのコンポーネントのいずれかを使用するには、ライセンス対象ソフトウェアの使用に伴い、追加料金を支払い、当該各サードパーティモジュールまたはオプションのライセンスを取得する必要があります。

5. **フィードバック。**ライセンス対象ソフトウェアは、お客様に任意で製品に対するフィードバックを要求する場合があります。かかるフィードバックを提供することで、お客様の知的財産権に基づいて、お客様はベリタスに対して、お客様についての言及なく、またお客様に対する義務を負わず、以下の権利を伴う、全世界的で、ロイヤルティフリーの、解約不能で非独占的なライセンスを付与します。ベリタスのライセンシーおよび顧客に対するサブライセンスの権利、ベリタス所定の方法でフィードバックを使用および開示する権利、およびベリタスまたはサブライセンシー所定の方法および媒体で、かかるフィードバックを包含したベリタスおよびサブライセンシーの製品を表示、実行、コピー、作成、使用、販売、あるいは処分する権利。
6. **ベンチマーク。**ライセンス対象ソフトウェアに関わるベンチマークテストまたはその他のテストの結果を、ベリタスの書面による事前の同意を得ずにサードパーティに開示することはできません。
7. **データ収集、データ保護の規制。**ライセンス対象ソフトウェアの使用に関して、ベリタスは特定の情報（「収集データ」）を収集、維持、開示および使用することがあります。収集されたデータには、お客様、お客様のデバイスまたはシステム、お客様のソフトウェア使用に関して個人を特定できる情報が含まれますがそれらに限定されません。ベリタスはこのような収集データを使用してライセンス対象ソフトウェアの有効化および最適化を行い、お客様にメンテナンス/サポートを提供します（同様の行為のためにサードパーティが関与することもあります）。また、全般的なベリタスの製品およびサービスの向上のための統計分析を目的とした集計データの確認も含まれます。ライセンス対象ソフトウェアのインストールおよび/または使用により、お客様はこのセクションで説明している収集データのベリタスによる収集に同意したことになります。ベリタスがお客様またはお客様のデバイスから収集、維持、開示、使用する情報について、詳しくはベリタスの製品プライバシー通知（またはベリタスによって提供されたその他のリンク）を参照してください。ライセンス対象ソフトウェアの使用は、地域によりデータ保護に関する法律または規制の対象となることがあることに留意してください。お客様には、当該の法律または規制に確実に従ってライセンス対象ソフトウェアを使用する責任があります。

Backup Exec 16 FP2 _5June2017